



やまなし

児童数 128 名

(12月2日現在)

四街道市旭ヶ丘 1-9-12

学校教育目標 「心豊かに学びを拓く実践人」

～人や自然を大切に、社会に学びを拓く児童の育成～

電話 043-432-0506

FAX 043-432-7344

相手の気持ちを考えて

校長 原田 裕章

木枯らしに吹かれた落ち葉が舞い、寒さが増してきました。朝夕も冷え込むようになり、朝の登校時は、子供たちからも「寒いね」と言う声が聞こえてくる季節になりました。

12月の学校生活は、2学期のまとめに入ります。9月からの学校生活を振り返って、できるようになったことや努力してきたことなどを確かめます。年度初めや学期初めに立てた目標がどの程度まで達成できたかを振り返りながら、自分自身の課題を確かめ、来学期の学校生活につなげていく期間です。

この2学期も、すべての学年が校外学習や、学校外に出て学ぶ機会がありました。1・2年生はアンデルセン公園に行き、体を動かしながら大きな遊具を体験したり、動物たちと触れあったりしました。3・4年生は、マザー牧場で班別行動をとりながら、普段なかなか関われない牛や羊などの大きな動物と接したり、広大な牧場内を散策したりしました。5年生はこれから校外学習で、12月4日に千葉県科学館と、ケーブルネット296の佐倉本社に行って学べます。6年生は先日、1泊2日で鎌倉と箱根へ修学旅行に行きました。鎌倉では古くからの歴史や文化に触れ、箱根では大自然の壮大さを体験してきました。このように、教室で教科書を開いて勉強するだけでは決して学ぶ事のできない、実際に見たり体験したりして肌で感じることでできる学びの機会が2学期には多くありました。12月はこれら一つ一つを振り返りながら、教室で学習したことも含め、まとめることで理解を深めていきます。

さて、12月は人権週間が4日～10日に行われます。昭和23年12月10日、国連において世界の全ての人々と全ての国々が達成すべき共通の基準として「世界人権宣言」が採択されました。これを記念して、12月10日は「人権デー」とされ、毎年12月4日から10日までの1週間を「人権週間」と定め、世界中で人権擁護活動を推進するための行事が行われています。いじめや虐待等のこどもの人権問題、インターネット上の人権侵害等、多様な人権問題が依然として存在しています。これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を、他人のことではなく自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めることが不可欠です。本校でも、11月12日に、いじめゼロ集会を行い、いじめを他人のことではなく、自分自身のこととして、一人一人が相手の人権を尊重することが重要であると認識しました。また、先日4年生は地域の方々のご協力のもと、「高齢者体験」を行いました。ここでは、ご高齢の方のいろいろな体の不自由な状態の疑似体験を行い、ご高齢で体の自由がきかなくなってきた方々の状態や気持ちを、体験から理解することができました。子供たちの感想からは、「体験してみて大変だったので、これからはご高齢の方に優しくしたい」「ご高齢で体が不自由になった方の気持ちがわかった」等、とても心温まる感想が聞けました。

山梨小の子供たちにとってはこれら、いじめゼロ集会や、高齢者体験等を行うことは、友達やご高齢の方など「相手の気持ちを考えて生活していく」ために、真剣に考える機会となりました。ここまで予定していた行事を無事に進めることができたのも、保護者の皆様や、地域の皆様のお陰です。ありがとうございました。

年末に向けて、寒さは増々厳しくなっていきます。今後も、学校全体で風邪等の予防と体調管理に努めてまいります。ご家庭のご協力を12月も引き続きよろしくお願いいたします。

いじめゼロ集会を終えて

今年度の2回目のいじめゼロ集会では、各学年ともに、今年5月にたてた学年の目標についての進捗状況を発表しました。できていること、まだ達成できていないこと、達成できていない部分に対してのこれからの取組について発表しました。5年生の発表では、みんなで守りたいこと、取り組んでいくことを代表児童だけではなく、全員が声を合わせて発表していました。2月に最後のまとめの発表もあります。



いじめがない学校、みんなが楽しいと思える学校をみんなで作っていきましょう。また、困ったことがありましたら、担任だけではなく、いろいろなところへ話をしてみましょう。

＊セクハラ相談窓口（伊藤養護教諭、1年熊谷）

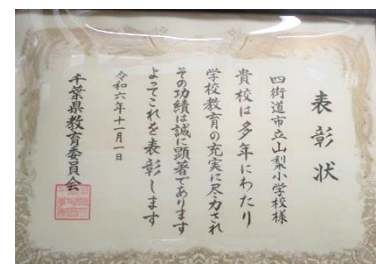
＊カウンセラー来校日（12/13、1/10、1/31、2/7、2/21、3/7）窓口：教頭

地域・保護者の方々にたくさんご協力いただいています

4年生は総合的な学習の時間のテーマが「福祉学習」で、年間通して「福祉」について学んでいます。22日には市社会福祉協議会、旭中学校区社会福祉協議会、地域コーディネータ、保護者の方々に協力していただき、「高齢者体験」を実施しました。高齢者疑似装具をつけ、階段の上り下りしました。講義では「ふくし」とは「ふだんの」「くらしを」「しあわせに」と考えるとよい、小学校の児童のみなさんにもできることだと教えてもらいました。



本校は令和4年度の『地域学校協働活動推進員研修講座』、令和5年度の『心のバリアフリー教育』について県より指定され、今まで活動したことを『心のバリアフリー教育グッドプラクティス』で発表したことで11月1日に千葉県より『教育功労賞』をいただくことになりました。この賞はまさしく、学校、地域、保護者が一体となり、日々の教育活動への多大なるご協力の賜物です。あらためて感謝申し上げます。これからも、子供たちが体験をとおして、よりよい教育ができるよう、ご協力よろしくお願いいたします。



＊表彰推薦文は山梨小HP「心のバリアフリー」に記載してありますのでご覧ください。

タブレット・充電器について

山梨小学校では、どのお子さんも1人1台端末（タブレット）は学習の道具として当たり前前に使用していると思います。本校は使用頻度も高く、故意でない故障や不具合が出ることもあります。その際には、すぐに担任にお知らせください。

ただし、市内すべての児童生徒がタブレットを使用しており、扱い方がていねいではなく、破損や故障が増加しており、修繕完了まで時間を要しています。タブレットや充電器は自分のものではなく、四街道市より借りているものであるという意識で使用をお願いします。

＜確認事項＞

- ・タブレット内の写真や動画で空き容量がなくなりますと、動作しなくなる可能性があります。
- ・タブレットの修繕には時間を要しますので、故障したらすぐにお知らせください。
特に、6年生のタブレットは、来年度の1年生の端末となりますので、ご注意ください。
- ・充電器は冬休み前に持参し、ICT支援員が動作確認をします。
（日程については山梨カレンダー参照）
3学期末は（3月）に回収し、次年度に再度配付いたします。
- ・充電器は家庭数です。点検・回収の時も下学年で持ってきてください。



※2月の授業参観は、2月22日（土）を予定しております。